

MorphoSysのファージディスプレイ人工抗体ライブラリから得られた抗体を用いて、肝臓の線維化を抑制

<概要>

ファイザーの小川らは、MorphoSys社の人工抗体ライブラリHuCALから得られた抗PDGF抗体を用い、これが肝臓の線維化を抑えることを見出しました。

肝臓の線維化は、肝癌を含む肝臓系疾患の兆候として注目されており、血小板成長因子PDGFがそのメカニズムに関与していると考えられています。今回、著者らは、HuCALを用いて抗PDGF-Bに対する抗体を作製しました。また、その結果複数得られたクローンの中から、AbyD3263がヒトおよびマウスPDGF-Bの機能を中和することを見出しました。AbyD3263は前臨床モデルにおいても肺の線維化を抑制することを示しており、PDGF-Bの創薬標的としての有用性を示すとともに、抗体医薬開発の可能性を示すことができました。

これらの結果は、HuCAL抗体が特に抗体医薬開発において有望であることを示しています。

<本研究成果は以下の論文にて報告されています。>

AbD MorphoSys Published Reference

Anti-PDGF-B monoclonal antibody reduces liver fibrosis development.

Hepatology Research. Published on July 14, 2010; 40: 1128-1141
Shinji Ogawa, et al.

《以下のサイトから論文リストがご覧いただけます》

<http://www.abdserotec.com/hucal-monoclonals/hucal-references.html>

《続々報告予定》